

テーマ 「多様で柔軟な職業能力開発の推進」

副題 「産学官連携による難削材加工における取り組み」

執筆者 長崎職業能力開発促進センター 安部 倫啓

共著者 中国職業能力開発大学校 古城 良祐

この度は、職業能力開発論文コンクールにおいて、厚生労働大臣賞（入選）を賜り、心から嬉しく思っております。これも岡山県産業労働部産業振興課ならびに岡山県産業振興財団技術支援部の職員をはじめ、岡山県の参加企業10社の皆さん、中国職業能力開発大学校の職員のご支援があつての受賞であると感じているところです。

また、本受賞の連絡を受け、長崎職業能力開発促進センターの職員の皆さんが祝賀会を開いてくれ、大きな喜びを感じているところでもあります。

今回の「産学官連携による難削材加工における取り組み」は、平成27年に人材育成研究会で実施した内容です。難削材の加工経験が少ない私でしたが、岡山県産業振興財団技術支援部の担当者をはじめ、上司や古城先生にもご支援・ご協力をして頂き、何とか参加企業のニーズをベースとした課題をやり遂げることができました。その後、参加企業から良い声が聞けたことは、自分にとってとても良い経験となりました。

その後、中国職業能力開発大学校のオーダーメイドセミナーとして引き継がれ、岡山県、岡山県産業振興財団で「難削材加工技術スキルアップ研修」として実施されています。平成28年度には超耐熱合金、チタン合金、平成29年度にはステンレス合金、ニッケル合金が対象素材とされました。一連の研修を通じ、難削材の加工に取り組んだ岡山県内企業は26社に達しており、参加企業からは好評を得ています。その中から、研修で得られた経験をもとに、難削材加工の新規受注を実現した企業が出るなど、具体的な成果に繋がっています。

本論文に示している難削材加工の取り組みについては、難削材加工の現状を把握するための内容になっております。この加工条件ですればうまくいくといった明確な内容ではありませんが、これから難削材加工にチャレンジする読者の皆さんならびに指導員の皆さんの一助になれば幸いです。